

電気柵による感電事故を防ぐため、正しい使用をお願いします。

平成27年7月に静岡県で動物よけの電気柵による感電死亡事故が発生しました。事故を防止するため、放牧等で電気柵を設置、使用する場合は、次の事項の遵守をお願いします。

### **適正な電源装置の使用**

電気柵の電気を30ボルト以上の電源(家庭のコンセント等)から供給するときは、PSEマーク付きの電源装置を使用してください。

### **漏電遮断器の設置**

電気柵を公道沿いなど、人が容易に立ち入れる場所に設置し、30ボルト以上の電源(家庭のコンセント等)から電気を供給する場合は、危険防止のためPSEマーク付きの漏電遮断器を設置してください。

### **危険表示**

電源の種類や電圧の大きさにかかわらず、必ず周囲の人が容易に目で確認できる位置や間隔、見やすい文字で、危険であることの表示を行ってください。

山梨県東部家畜保健衛生所

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005 または090-5544-7868

# 「電気さく」とは？

- 田畑や牧場などで、高圧の電流による電気刺激によって、野生動物の侵入や家畜の脱出を防止する「さく」のことです。

- 「電気さく」は、人に対する危険防止のために、電気事業法で設置方法が定められています。

**！ 「電気さく」を設置する際の主な注意点**

家庭用電源から直接、電気さくに電気を供給させることは絶対に行わないでください。  
**人や家畜を死傷させる事故につながるおそれがあります。**

**電源及び漏電遮断器**

30ボルト以上バッテリー  
(ソーラーパネルで充電し、充電するタイプを含む)

家庭のコンセント  
 コンセント式漏電遮断器

**！ 漏電遮断器の設置**

電気さくを公道沿いなどの人が容易に立ち入る場所に設置する場合は、30ボルト以上の電源（家庭のコンセントなど）から電気を供給するときは、漏電による危険を防止するために、漏電遮断器を設置する必要があります。

**電気さく用電源装置**

接地

**！ 開閉器(スイッチ)の設置**

電気さくに電気を供給する回路には、電気さくの事故等の際に、容易に電源から開放できるように、開閉器(スイッチ)を設置する必要があります。  
 ※電源装置本体に付属されており、容易に操作できる場合、外部に追加する必要はありません。

**開閉器(スイッチ)**

ON OFF

**！ 電気さく用電源装置の使用**

電気さくに電気を供給する場合は、感電により人に危険を及ぼすおそれのないように、出力電流が制限される電気さく用電源装置を用いる必要があります。

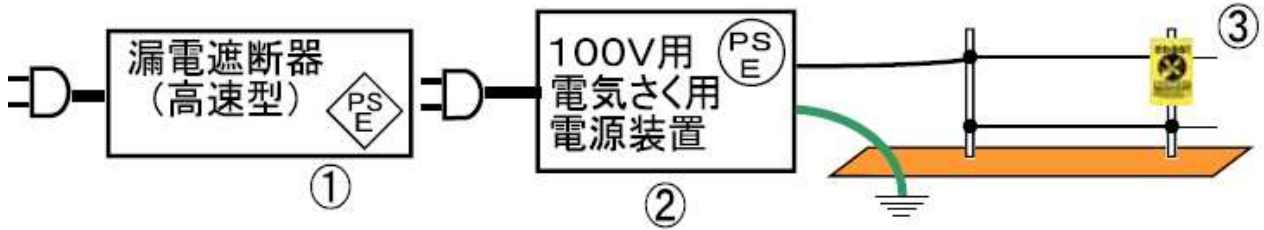
**！ 危険である旨の表示**

電気さくを設置する場合は、人が見やすいように、適当な位置や間隔、見やすい文字で危険である旨の表示を行う必要があります。

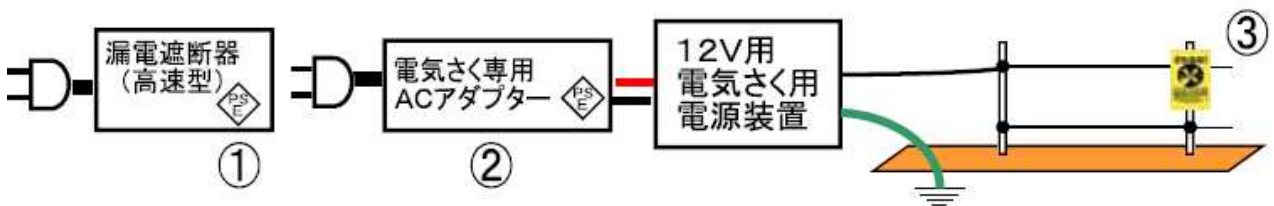
**！ 感電注意**  
 かんでんちゅうい

# 電気柵の安全な使用について(正しい接続方法)

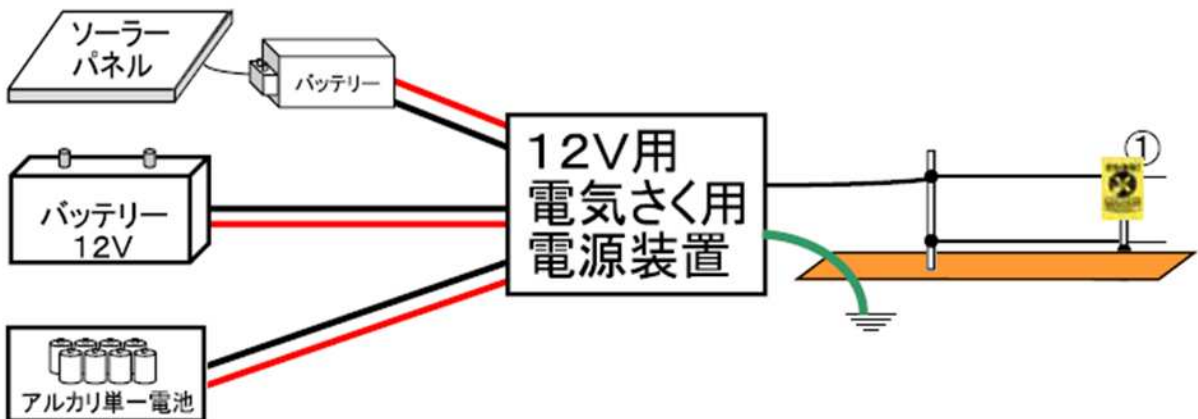
## 1. AC100Vを電源とするもの



## 2. ACアダプターを電源とするもの



## 3. 電池(乾電池、バッテリー、ソーラー等)を電源とするもの(これらを使用する場合、PSEマークは不要です)。



次の方法は  
絶対禁止です

AC100Vを直接電気柵へ流すことは法律で禁止されています。重大な事故につながりますので、絶対に行わないでください。



## 電気柵の点検・維持管理のポイント

電気柵を安全で効果的に使用するため、設置後も定期的に点検・維持管理を実施してください。

### 【点検のポイント】

- ・柵線や本体関係機器の破損・不備はないか。
- ・電圧が十分かどうか。
- ・漏電していないかどうか。
- ・支柱のぐらつきや破損はないかどうか。
- ・アースやバッテリーのコードが切れていないか。
- ・地際から侵入された形跡がないかどうか。

### 【維持管理のポイント】

- ・漏電防止のための草刈りをしましょう  
草が電線に触れると漏電し、動物への電気ショックが弱まってしまう。
- ・藪の刈り払いで、動物の隠れ家をなくしましょう。  
柵のそばの藪は動物の隠れ家になります。  
動物は、藪に身を隠しながら侵入できる隙間を探します。  
ゆっくり柵の探索をさせないために、柵の外際の刈り払いを行いましょう。

